

ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局：大代地区公民館 ☎ 364-8442

あいきつは心のふれあい
出会った人と あいきつしまししょう

あいきつは心のふれあい
出会った人と あいきつしまししょう

みんな長のつもり

大代東 本郷 新治

小倉百人一首入門(その三)

大代西 藤田 遊子

「君がため 春の野にいでて
若葉つむ わが衣手に
雪はふりつつ」

光孝天皇

新年を祝う会を終えて
コミュニティ推進部長 小野 菊郎
今年も、皆様のご参加(東区二十三
名 西区二十三名 南区四十一名 北
区十三名 中区二十七名 来賓十名
合計百三十七名)を得て一月七日(日)
大代地区公民館において盛大に開催で
きました。

大代地区の方々が一室に会する祝う
会ですが、締め切り前に百三十名以上
の方の参加者がありました。開催す
るまでの段取り次第で七十%が成功す
ると言われておりますが、これは、偏
にお世話いただきました関係者のお口
添えによるものと感謝申し上げます。

又、関係者の方には早朝から準備と後
片付けにご協力を賜りまして厚く御礼
申し上げます。少ない費用で、大きな
喜びを感じて頂きたく内容を企画いた
しました。

ステージには地域のボランティアの
皆さんによる唄や踊りに、日頃練習さ
れた成果が見事に披露され、会場の皆
さんにはさぞご満悦いただいたことと
存じております。

また、今年も暖かい食べ物とを考え、
豚汁を婦人会の方々のご協力で用意い
たしました。

地域での共助活動が、災害時だけで
はなく平時においても、婦人会を中心
となって実践されることは、地域の連
帯感を醸し出す環境が、新年を祝う会
を通して実現されつつあると考えて

当日は、低気圧の発生で天候が心配
されましたが、前日の荒天も去り寒気
も和らぎ、まずまずの日和でした。
なお、反省点として、会場の盛り上
がり一部飲み物が不足したとの声が
ありましたので、次回には内容を検討
して実施してゆきたいと考えておりま
すので、皆様のご理解を頂きたく存
じます。

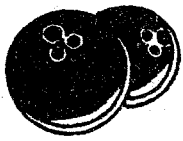
ボーリング大会に 参加しませんか

コミュニティ体育部

大代地区コミュニティ推進協議会主
催のボーリング大会を二月二十五日
(日)に一兆ボーリング場にて開催い
たします。多数の参加を願っておりま
す。

大会日 / 二月二十五日(日)
場所 / 一兆ボーリング場
集合時間 / 午前九時三十分
試合時間 / 午前十時スタート
参加費 / 千円(靴代は各自負担)
申込場所 / 大代地区公民館(会費共)
申込締切 / 二月二十日(火)まで

※参加賞を準備しています



日本人は「長」の字に弱いという定
評があります。長の地位につかないと
本人も承知できない、周囲も一目おか
ない。裏を返していえば、長を量産す
れば、みな喜んで仕事をすることにな
るわけですが、そうかといつてむやみ
に長をつくることはおかしい。たまに
そういう会社に出会うけれども、それ
は経営者が長をだしにうまく社員を操
縦しているだけで、長の実力について
は甚だ心もとないようです。もうこの
へんで、長に感わされる病氣から脱出
し、仕事の内容本意という考え方をす
べきです。たとえば電力会社などをみ
るとわかるが、山の中の小さな水力発
電所の仕事に携わっている者と、中央
で長と名がつく者とは仕事の軽重は
どちらかといえば、現場の方が責任も
重いし、会社としては必要な人間です。
無名の下積みでも、その人でなくては
やれない、その人がいないとストップ
してしまう部署があります。またどの
社会にも、名もない功労者がいるもの
です。人に知られない職場を三十年も
勤めたという人は、それだけで尊い業
績を残したことになります。これはた
とえヒラでも長と同等、あるいはそれ
以上の価値をもっています。長になる
ことよりも、だれでも長のつもりで責
任をもつ心がけがあればそれでりっぱ
です。

「概訳」あなたのために、春の野辺に
出て若葉を摘んでいると、わ
たしの袖に、雪が降りつつい
ているのですよ。

「主旨」ふる春雪のなかであなたへ贈
る若葉を摘む心。

「春の七草」

なすな・すずな・すずしろ・
せり・はこべら・ごぎょう・
ほとけのざで、正月初の子の
日の「若葉つみ」は、この日
に若葉を摘んで食べると、災
い、万病を除くという正月の
行事。七草粥を祝う正月七日
の節句。

「作者」第五十八代。仁明天皇の第三
皇子。藤原基経は従兄弟。幼
少から賢明。五十七歳で没。



「祝儀 お見舞いは 三千元を限度にし お返し物はしないようにお互い気を配りましよう

募る死者への悲しみ(四十八)

大代南 後藤 清一

忘れ難く悲しみだけを多く残したシベリヤ抑留とは一体何だったのか。

とにかく四年間の囚われの生活の中で多くの同胞同僚を失い、惨めな姿で祖国に辿り着いたとはいえ、多数の犠牲者の中から生きて母国の土を踏む事を許された私は幸せ者といえるかもしれない。今は悲しみも苦しみも一つの思い出としてわが心の奥深く仕舞い込んでおきたい。俺達は自分の力で捕虜という極限の状態の中でさえ、自分の生きる最善の生活を造りあげてきた努力に喜びと誇りを持っている。勿論今思えばどれも想像を絶する程悲しく惨めなものであったし、苦境で一番苦しむ者はどこも同じ子供・老人・病人など弱い立場の人達であった。抑留生活の中でも同様、一番苦しみ、惨めだったのは階級の低い兵達であった。

昨年の墓参りで同行した姉妹は移動の車中で二人の想いの叫びは激しく続く。荒れた雑木林の北の斜面に父が一人淋しく眠り続ける墓だと資料に基づき説明を受け、現地案内人も当墓地は極小規模で二十名の日本人が葬られている。未だ収骨もなく荒れ放題で時々心ある現地民が除草など手入れをしていると語る。土饅頭が崩れ、墓という形跡など全く判断できない。こんな現状を目の前にした二人は茫然として

ここが父の墓なんですかと、信じられないと座りこむ。普通墓というと一人一人を外柵で囲み整然と並ぶ様を連想するが始めて見る現実に身震いして立ち上がる。国の為と絶対の勝利を信じ、神風の加護を念じ聖戦と決めつけられ、全てに耐えて戦うも敗戦。祖国は無条件降伏、国家、国民の行末はと万事に腐心、即刻の帰国を願うそんな千秋の想いも叶わず多くの方々がこのシベリヤの地に眠っている。このような人達がどんな所に、どの様に眠っているか政府の方々関係機関の人達の目で確かめて下さる事を願います。もし、貴方達の肉親だったらどうなさる。お聞きしたいです。お金をかけて立派な墓を建ててとは申しませんが、いろいろ難しい事情があると思いますが、亡くなられた方、生還された人達、また多くの遺族の方々が“ほつ”とする様にして下さればと願いたいのです。

今回は各地の墓地を尋ね歩いて、何時も気になり不思議に思えるのは、日本人なのにお墓がロシアのここシベリヤに何十年もあるのはおかしいと遺族の思いは全く本質をついている。またある時は湿地の藪の中から一つ、少し離れた沢の方からまた一つと、哀訴の叫びが聞こえる。この異国の地で自分に起きた事柄を、ここに眠り続ける俺の現実を家族に伝えてくれと。

既に魂となった彼等は故郷に肉親を

訪ねる事はできない。ただシベリヤの広野をさまようばかりなのだ。関係の皆様さん一日も早い収骨の完結を願う。

かぞくりよこ

平間 麻衣

わたしのうちでは、みんなで一年に一回八月に夏休みをりようして、いさみおじさん、せい子おばさんのかぞく十五人、車三台ででかけました。

今年はいつもとまっていた鳴子のべんてんかくに一泊しました。つぎの日は、花山にある温湯山荘にとまりました。山の中で大きなハチがいつぱいとんでいました。カプトムシをとるのをたのしみにしていたのでしたが、ゆうがたからあめがふりできませんでした。とてもさんねんでした。つぎの日、花と泉のこうえんでペコニアの花をみましました。とてもきれいな小さい花、大きい花がきれいなならんでいました。おばあちゃんはいっしょうけんめいしゃしんをとっていました。おひるには、こだいまいのひやしめんをみんなだべました。おたふくかぜになりどこにもいけなかったのでとてもたのしいりよこでした。

また、らいねんはけせんぬまの大島にいくよていです。いまからたのしみにしていきます。

ふれあい川柳

大代西 藤田 遊子

年金はお年玉と消えにけり
餅花をボケツトに詰めて孫帰る
景色に一人人が列をなし
お年玉貰えば帰る三歳児
七草は食品売場で求めけり

ふれあい俳句

大代西 松浦 富男

惜しからぬ余命なれども冬至風呂
雪吊りの縄の力学円推美
喜怒哀楽予感を秘めた新暦
つり絵馬は猪突猛進初詣
去年今年孔明死ぬる三国志

笠神西 本郷 勝子

湯治宿父母の思い出冬銀河
荒涼や背で鳴いてる寒立馬
空の青海の蒼濃き寒の入り
初卓球老若男女猛突進
整理田に百の白鳥憚らず

